

5. Aterm のメール機能

- ▶ AtermとBIGLOBEによって提供される便利でお得なメールサービス、電子メール着信通知・遊遊メール・UUIメールについて説明します。

5.1	概要と利用条件	5-2
5.2	準備	5-5
5.3	電子メール着信通知	5-18
5.4	UUIメール	5-20
5.5	遊遊メール	5-26
5.6	メッセージの入力方法	5-32

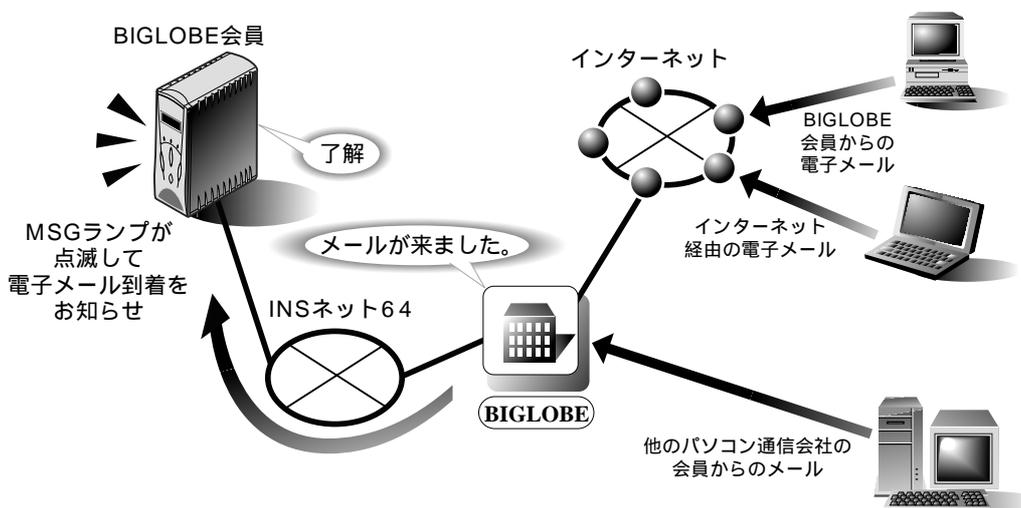
5.1 概要と利用条件

Atermでは、INSネット64のユーザ間情報通知サービス(UUI)を利用して、電子メール着信通知、UUIメール、遊遊メール(UUIメール変換サービス)という3種類のメールサービスを利用することができます。

■ 電子メール着信通知 ■

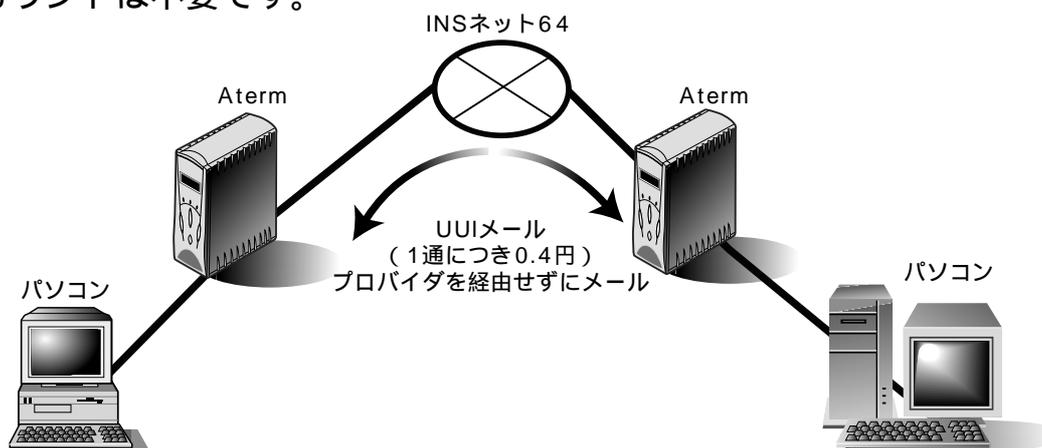
BIGLOBEのIDに電子メールが届いたときに、AtermのMSGランプを点滅させて、電子メールが到着していることをお知らせします。パソコンを起動しておく必要がありません。

電子メールが届いているかどうかを確認するために、何度もダイヤルアップ接続する手間から解放されます。また、専用ユーティリティ「UUIメールEX」を使えば、電子メールの到着時にパソコンの画面にメッセージが表示され、電子メールの発信元(From)や題目(Subject)を確認することもできます。



■ UUIメール ■

INSネット64のユーザ間情報通知サービス(UUI)を利用して、2台のAterm間で直接メールを送受信することができます。インターネットプロバイダやパソコン通信サービスは経由しません。相手の電話番号を指定してやり取りするので、メールアドレスは不要です。



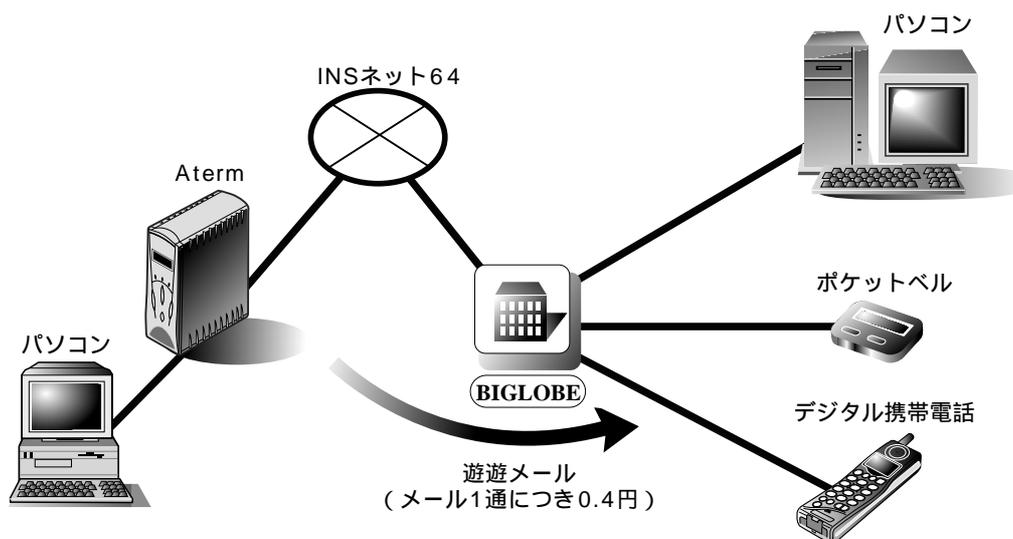
■ 遊遊メール(UUIメール変換サービス) ■

UUIメールとして送信したメールを、BIGLOBEのサーバーが通常の電子メールの形式に変換し、インターネット上に送信します。

1回0.4円と、通常の方法で電子メールを送付するのに比べると通信料金が安くすみます。

専用ユーティリティ「UUIメールEX」を使ってパソコンから送信できるほか、Atermに接続した電話機のボタン操作で送信することもできます。

相手がBIGLOBE以外のプロバイダでも送信できるほか、ポケットベル・デジタル携帯電話・PHSのショートメッセージサービスにも送信できます。



? こんなときは

「3 .電話機能」の中の「電話番号着信通知」は、遊遊メールを利用して行います。電話番号着信通知を利用するときは、遊遊メール利用のための設定も行ってください。
「電話番号着信通知を設定する」(☎3-25ページ)

● ご参考

- BIGLOBEとは
NECが運営するインターネットとパソコン通信の垣根をなくしたフルコースプロバイダ「ビッグロブ」。新しいスタイルの情報メディアとしていま、ネットワークたちの熱い視線を集めています。
- 電子メール着信通知と遊遊メールには、通信相手の制限はありません。BIGLOBE会員でも、インターネットでも、ほかのパソコン通信でも、BIGLOBEにメールを出せる相手なら誰でもかまいません。
- ユーザ間情報通知サービス(UUI)とは？
INSネット64のDチャンネル(信号チャンネル)を利用して、ユーザ間の情報のやり取りを行うものです。

■ 利用条件 ■

		電子メール着信通知	UIメール	遊遊メール
INSネット 64	追加契約	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザ間情報通知:着信許可(追加料金なし) ・通信中着信通知:利用する(追加料金なし) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザ間情報通知:着信許可(追加料金なし) ・通信中着信通知:利用する(追加料金なし) 	<ul style="list-style-type: none"> ・発信者番号通知:通常通知(通話ごと非通知)または通常非通知(回線ごと非通知)追加料金なし)
BIGLOBE	契約と料金	<ul style="list-style-type: none"> ・加入(BIGLOBE-IDの取得)有料) ・メールオプションの電子メール着信通知(有料) 	不要	<ul style="list-style-type: none"> ・加入(BIGLOBE-IDの取得)有料) ・メールオプションの電子メール着信通知(有料)
利用条件		データポートに発信者通知番号と着信番号を設定します。	データポートに発信者通知番号と着信番号を設定します。	データポートに発信者通知番号と着信番号を設定します。
その他		「通信中着信通知」を利用すると、Bチャンネル2つを使用中でも、ユーザ間情報通知を受け付けることができます。	「通信中着信通知」を利用すると、Bチャンネル2つを使用中でも、ユーザ間情報通知を受け付けることができます。	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の電子メールを送るのに比べ、通信料金が安くなります(0.4円/1回)。BIGLOBEへの接続料金は不要です。 ・「通常非通知」の契約の場合は、Atermの設定で、データポートの発信者番号通知を「行う」に設定してください。 ・送信メッセージの長さは、相手のメールアドレスと合わせて、半角98文字までです。

■ 使用ツール ■

お使いの環境に合わせて、以下のツールを利用することができます。

メールの種類 環境	電子メール着信通知	UIメール	遊遊メール
Windows 98、 Windows 95、 Windows NT4.0の 場合	<ul style="list-style-type: none"> ・UIメールEX ・電子メール着信通知 & UIメールユーティリティ*1 ・AtermのMSGランプ 	<ul style="list-style-type: none"> ・UIメールEX ・電子メール着信通知 & UIメールユーティリティ*1 	UIメールEX
Macintoshの場合	<ul style="list-style-type: none"> ・UIメールEX ・電子メール着信通知 & UIメールユーティリティ*1 ・AtermのMSGランプ 	<ul style="list-style-type: none"> ・UIメールEX ・電子メール着信通知 & UIメールユーティリティ*1 	UIメールEX
パソコンを使わない 場合	AtermのMSGランプ	電話機	電話機

*1. 電子メール着信通知 & UIメールユーティリティは、添付 CD-ROM に収録されていますが、本書には使い方などを記載していません。インストール方法、使用方法などについては、html フォルダ内の index.htm ファイルをご覧ください。

5.2 準備

各メールサービスを利用できるようにするための、準備作業について説明します。特に断りのないものは、3つのサービスに共通した作業です。

5.2.1 INS ネット 64 の契約の確認

以下のサービスについて、NTTとの契約内容を確認してください。
「利用条件」(☞5-4ページ)

推奨する契約方法は以下のとおりです。

- ・ユーザ間情報通知 : 着信許可
- ・通信中着信通知 : 利用する
- ・発信者番号通知 : 通常通知(通話ごと非通知)

5.2.2 BIGLOBEの申し込みとメールオプションの設定

電子メール着信通知と遊遊メールを利用する場合は、BIGLOBEへの加入と、メールオプションの申し込みが必要です。

■ BIGLOBEへの加入 ■

BIGLOBEへ加入していない場合は、以下の手続きを行ってください。
らくらくウィザードを使うと、BIGLOBEへのオンラインサインアップを簡単に行うことができます。

● ご参考

- ・ オンラインサインアップとは、プロバイダへの入会手続きをオンライン(通信中に)で行うものです。ウィザードの中で名前その他の必要事項を入力します。
- ・ BIGLOBEに関する詳細は、BIGLOBEのホームページをご覧ください。
インターネットに接続し、ブラウザで以下のURLを指定します。
<http://www.biglobe.ne.jp/>

■ メールオプションの申し込み(有料) ■

メールオプションの申し込みもオンラインでできます。ブラウザでメールオプションのページを表示し、サービスに関する説明をよく読んだあとで、以下の手順で入力します。

電子メール着信通知

1. ブラウザを開き、BIGLOBEメールのページを表示する
<http://www.biglobe.ne.jp/blmail/>
2. メールオプションの「設定」ボタンをクリックする
4. 着信通知 Aterm着信通知の「設定」ボタンをクリックする



3. 次の画面が表示されたときは、ユーザーIDとパスワードを入力し、「確認」ボタンをクリックする

ユーザーIDとパスワードは会員証をご覧ください。ダイヤルアップ接続時に使用するものと同じです。パスワードを変更した場合は、新しいパスワードを入力してください。

5. Aterm着信通知設定画面で、電話番号、サブアドレス、通知表示名を入力する
電話番号: データポートに割り当てた着信番号を入力します。
サブアドレス: データポートにサブアドレスを設定しているときは、入力します。
通知表示名: 表示用に適当な名前を入力します。同じ名前をUIメールEXにも設定します(5-10ページ)。



- オプション設定を選択し、[確認画面] へ [ボタン] をクリックする

- Aterm着信通知 入力内容確認画面で入力内容を確認し、正しければ [設定する] ボタンをクリックする

遊遊メール

- 電子メール着信通知の手順1～3を行う
- 遊遊メールの [設定] ボタンをクリックする



- 発信元電話番号、サブアドレス、差出人名称、署名を入力し、[確認画面] へ [ボタン] をクリックする

発信元電話番号: データポートの発信者番号通知で通知する電話番号を入力します。

サブアドレス: データポートにサブアドレスを設定しているときに入力します。

差出人名称: メール送信時に通知する自分の名前を入力します。

署名: メール本文の終わりに付ける署名(自分の名前など)を入力します。



- 遊遊メール設定 入力内容確認画面で入力内容を確認し、正しければ [設定する] ボタンをクリックする

5.2.3 着信電話番号と発信者電話番号の設定

データポートに着信用の電話番号と発信者通知の電話番号を設定します。

「i-numberを設定する 手順3」(☞3-36ページ)

「ダイヤルインを設定する 手順4」(☞3-39ページ)

「3.2.7 発信者番号通知」(☞3-12ページ)

5.2.4 UIメールEXのインストールと設定

5.2.4.1 インストール

Windowsの場合

1. 添付CD-ROMをドライブにセットする
しばらくするとメニュー画面が表示されます。
2. Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行する]を選択する。

3. 名前の欄に、<CD-ROMドライブ名>:
¥UTIL¥MAIL¥UIEX¥Setup.exe
を入力し、[OK]ボタンをクリックする。



4. インストール先フォルダを選択し、[次へ]ボタンをクリックする



5. プログラムフォルダを選択し、[次へ]ボタンをクリックする
インストールが始まります。



6. [スタートアップに登録する]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックする



7. [今すぐUIメールを起動する]をチェックし、[終了]ボタンをクリックする



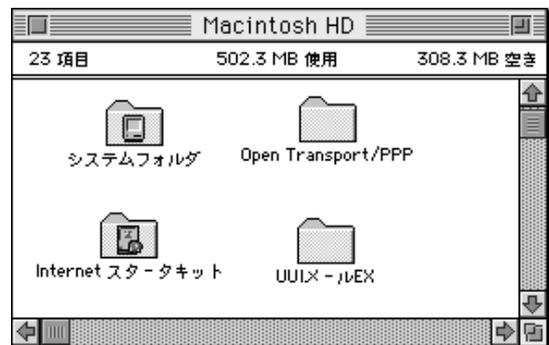
8. UIメールEXが起動する
UIメールEX画面が開きます。以降、パソコンを起動するたびに、UIメールEXが自動的に起動します。
UIメールEX起動中は、タスクトレイにUIメールインジケータ(青い郵便箱)が表示されます。

8. UIメールEX画面が不要なときは[×] ボタンをクリックして閉じる
画面を閉じて、UIメールEXは起動しています。



Macintoshの場合

1. 添付CD-ROMをドライブにセットする
2. AtermITX80/ITX70のアイコンをダブルクリックする
3. フォルダの中の「UIメールEX」をハードディスクにコピーする



⚠️ ご注意

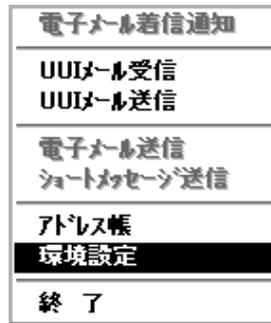
インターネットに接続している間は、UIメールEXを起動することはできません。

5.2.4.2 環境設定

環境設定は、メールサービスごとのタブとなっています。利用するサービスのタブを選択してください。

■ Windowsの場合 ■

1. タスクバーのUIメールEXインジケータを右クリックし、ポップアップメニューから[環境設定]を選択する



● 参考

[UIメールEX]画面の環境設定アイコンをクリックしても[環境設定]画面を表示させることができます。

5

準備

電子メール着信通知

1. [メール着信通知]タブを表示する
2. [メール到着検出時にポップアップする]をチェックする
電子メールが着信したときに、メッセージが表示されます。
3. [参照]ボタンをクリックし、利用するメールソフトのパスを指定する
実際にメールを読むときに使用するメールソフトを指定します。空欄のままでもかまいません。
4. メール通知設定の空いている行をクリックし[登録]ボタンをクリックする



5. 名前と通知表示名を入力し、[OK]ボタンをクリックする

名前: 電子メール到着時にUIメールEXに表示する名前を入力します。
通知表示名: BIGLOBEのメールオプションで設定した通知表示名を入力します。



6. [OK]ボタンをクリックする



UUIメール

1. [UUIメール]タブを表示し、[メール到着検出時にポップアップする]を
チェックする

UUIメールが着信したときに、メッセージが表示されます。

2. 発信者名を入力する

UUIメールを送信したときに相手側に表示される名前を入力します。



3. [OK]ボタンをクリックする

遊遊メール

1. [遊遊メール]タブを表示し、
BIGLOBE-IDを入力する
BIGLOBEのIDを入力します。

2. [OK]ボタンをクリックする



●ご参考・・・・・・・・

画面に発信者通知番号が表示されていますが、ここでは設定できません。発信者通知番号は、らくらくユーティリティで設定してください(☞3-13ページ)。

■ Macintoshの場合 ■

1. UIメールEXフォルダの中の、UIメールEXアイコンをダブルクリックする



2. 次の画面が表示されたら[OK] ボタンをクリックする

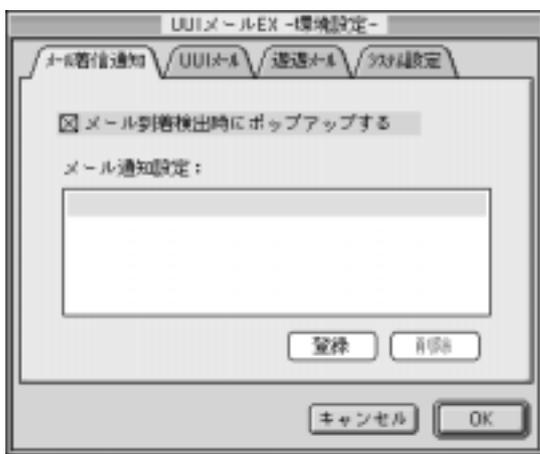
UIメールEX画面がすでに表示されているときは、UIメールEX画面で、ツールバーの ボタンをクリックしてください。



電子メール着信通知

1. [メール着信通知] タブを表示する
2. [メール到着検出時にポップアップする] をチェックする

電子メールが着信したとき、メッセージが表示されます。



3. 一覧から登録する部分をクリックし、[登録] ボタンをクリックする

4. 名前と通知表示名を入力し、[OK] ボタンをクリックする

名前: 電子メール到着時にUIメールEXに表示する名前を入力します。

通知表示名: BIGLOBEのメールオプションで設定した通知表示名を入力します。



5. [OK] ボタンをクリックする



UIメール

1. [UIメール]タブを表示し、[メール到着検出時にポップアップする]をチェックする

UIメールが着信したときに、メッセージが表示されます。

2. 発信者名を入力する

UIメールを送信したときに相手側に表示される名前を入力します。



遊遊メール

1. [遊遊メール]タブを表示し、BIGLOBE-IDを入力する
BIGLOBEのIDを入力します。



●ご参考・・・・・・・・

画面に発信者通知番号が表示されていますが、ここでは設定できません。発信者通知番号は、らくらくユーティリティで設定してください(☞3-13ページ)。

システム設定

1. [システム設定]タブを表示する
2. 接続ポートとメール監視時間を選択する
3. すべてのタブを設定したら[OK]ボタンをクリックする

接続ポート:Atermが接続されているポートを選択します。
メール監視時間:何分おきにメールの到着を確認するかを設定します。



5

準備

5.2.4.3 アドレス帳への登録

送信先の電話番号やメールアドレスはアドレス帳に登録しておくことができます。アドレス帳に登録した宛先は、メール送信時に簡単に選択できます。

Windowsの場合

1. タスクトレイのUIメールEXインジケータを右クリックし、ポップアップメニューから[アドレス帳]を選択する
3. 名前やアドレスなどを入力する



2. アドレス帳画面で、一覧から登録する欄をクリックする



3. 名前やアドレスなどを入力する
- 名前:送信先の名前を入力します
UIメール送信:相手の電話番号を入力します。サブアドレスがある場合は、/の後にサブアドレスを入力します。
電子メールアドレス:遊遊メールを送信する場合、相手の電子メールアドレスを入力します。
ショートメッセージ送信アドレス:ポケットベル・デジタル携帯電話・PHSのショートメッセージ送信をする場合、相手のドメイン名を入力します。



4. 手順2～3を繰り返す
5. [OK]ボタンをクリックする

●ご参考・・・・・・・・

UIメール送信画面のアドレス帳ボタンや、UIメールEX画面のアドレス帳アイコンをクリックしても、アドレス帳画面を表示できます。

Macintoshの場合

1. UIメールEX画面のツールバーの  ボタンをクリックする
UIメールEXアドレス帳画面が表示されます。
2.  ボタンをクリックする



3. 名前やアドレスなどを入力する
名前:送信先の名前を入力します
UIメールアドレス:相手の電話番号を入力します。サブアドレスがある場合は、/の後にサブアドレスを入力します。
電子メールアドレス:遊遊メールを送信する場合の、相手の電子メールアドレスを入力します。
ショートメッセージアドレス:ポケットベル・デジタル携帯電話・PHSのショートメッセージ送信をする場合の、相手のドメイン名を入力します。



4. [OK]ボタンをクリックする
5. 手順2～4を繰り返す
同様の手順を繰り返し、複数のアドレスを登録できます。
6. クローズボックスをクリックして画面を閉じる

5.2.5 テレホン遊遊メール利用の準備

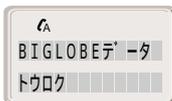
電話機からの操作で遊遊メールを送ることを、テレホン遊遊メールと呼びます。テレホン遊遊メールを利用する場合は、遊遊メール用の準備のほかに、以下の登録作業が必要です。

■ BIGLOBEのID番号の登録 ■

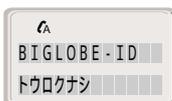
テレホン遊遊メールは、送信先へ直接送信するのではなく、BIGLOBEのサーバーを介してポケットベルサービスや電子メールの宛先にメッセージを送ります。このため、テレホン遊遊メールを利用するときは、事前にBIGLOBEのID番号を登録してください。登録していない場合、テレホン遊遊メールを送ることはできません。

1. 電話機の手話器をあげる

2. * * 8 5 を順に押す

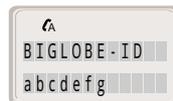


3. * 0 1 を順に押す



4. * [ID番号] を順に押す

BIGLOBEのID番号を入力します。ID番号の入力方法は、メッセージの入力と同じです。「5.6.1 文字コードを使って入力する」(☞5-32ページ)



5. # # を押す

6. 手話器を戻す

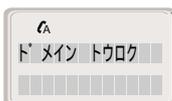
■ サーバーのドメイン名の登録 ■

テレホン遊遊メールでPHS・デジタル携帯電話・ポケットベルへショートメッセージを送信するときは、事前にサーバーのドメイン名を登録します。

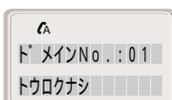
ドメイン名は、最大8個までを短縮番号(01~08)に登録できます。送信時にここで登録した短縮番号を使いますので、登録した短縮番号を覚えておいてください。

1. 電話機の手話器をあげる

2. * * 8 4 を順に押す

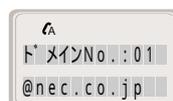


3. * [短縮番号01~08] を順に押す

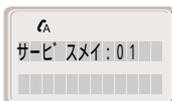


4. * [ドメイン名] を順に押す

サーバーのドメイン名を入力します。ドメイン名の入力方法は、メッセージの入力と同じです。最大40文字まで入力できます。「5.6.1 文字コードを使って入力する」(☞5-32ページ)



5. **#** ***** を順に押す



6. **[サービスネーム]**を入力する

サービスネームはドメインネームの表示用の名前です。送信時にドメインネームに対応する短縮番号を指定したときに、サービスネームが表示されます。サービスネームの入力は省略可能です。

サービスネームの入力方法は、メッセージの入力と同じです。最大12文字（ITX80、80/Dでは6文字）まで入力できます。

「5.6.1 文字コードを使って入力する」
（☞5-32ページ）



7. **#** **#** を押す

8. 受話器を戻す

■ 電子メールアドレスの短縮番号登録 ■

テレホン遊メールで電子メールを送信するときの相手の電子メールアドレスを、短縮番号に登録します。9件分登録できます。

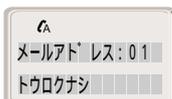
電子メールアドレスは短縮番号に登録しなくても送信できますが、よく使うアドレスを登録しておく、送信時の操作が簡単になります。

1. 電話機の受話器をあげる

2. ***** ***** **8** **3** を順に押す



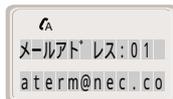
3. ***** **[短縮番号01～09]**を順に押す



4. ***** **[電子メールアドレス]**を順に押す
送信先電子メールアドレスを入力します。

電子メールアドレスの入力方法は、メッセージの入力と同じです。最大40文字まで入力できます。

「5.6.1 文字コードを使って入力する」
（☞5-32ページ）



5. **#** **#** を押す

6. 受話器を戻す

5.3 電子メール着信通知

電子メール (BIGLOBE) やUUIメールが届くと、AtermのMSGランプが点滅してお知らせします。

UUIメールEXを起動していると、タスクトレイのUUIメールEXインジケータも点滅します。電子メールの場合はオレンジ色、UUIメールの場合は青色で点滅します。

⚡ ご注意

初めて利用するときは、「5.2 準備」(☞5-5ページ)からお読みになり必要な準備作業を行ってください。

5.3.1 電子メールを確認する

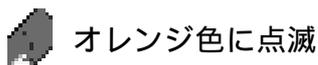
UUIメールEXを使って、到着した電子メールの差出人 (From) と題目 (Subject) を確認します。

⚡ ご注意

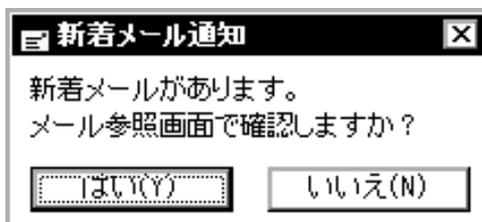
電子メールの本文を読むためには、インターネットに接続し、メールソフトで受信しなければなりません。

Windowsの場合

1. タスクトレイのUUIメールEXインジケータがオレンジ色に点滅する



2. 次のメッセージが表示されたときは、[はい]ボタンをクリックする



3. メール参照画面で発信者と題目を確認し、[OK]ボタンをクリックする
メールの本文を読みたいときは、[メール起動]ボタンをクリックし、メールを読み出します。



UUIメールEX画面ではすべてのメールを確認できます。



Macintoshの場合

1. メール到着のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックする
2. BIGLOBEメールで発信者と題目を確認する



5.4 UUIメール

2台のAterm間で直接送受信できるメールです。BIGLOBEの契約は不要です。

◆ ご注意

初めて利用するときは、「5.2 準備」(☞5-5ページ)からお読みになり必要な準備作業を行ってください。

5.4.1 UUIメールを送信する

UUIメールEXを使って、Atermを使っている相手にUUIメールを送信します。

Windowsの場合

1. タスクトレイのUUIメールEXインジケータを右クリックし、ポップアップメニューから[UUIメール送信]を選択する



2. UUIメール送信画面の[手入力]ボタンをクリックする

アドレス帳に登録済みのアドレスを使う場合は、[追加]ボタンをクリックし、アドレスを選択します。

「5.2.4.3 アドレス帳への登録」(☞5-14ページ)

3. 相手の電話番号を入力し、[OK]ボタンをクリックする

サブアドレスがあるときは、0311119999/1234の形で入力します。



4. 下のボックスにメッセージを入力する
送信できる文字数に制限があります。あと××文字の表示を確認してください。

作成済みのメッセージがあるときは、[差込ファイル]ボタンをクリックし、ファイルを選択します。



5. [送信]ボタンをクリックする

6. 次の画面が表示されたら[OK]ボタンをクリックする

AtermのSD/RDランプが消灯していることも確認してから、[OK]ボタンをクリックしてください。



●ご参考・・・・・・・・

UIメールEX画面のメール送信アイコンをクリックしてもUIメール送信画面を表示できます。

Macintoshの場合

1. UIメールEXフォルダの中の、UIメールEXアイコンをダブルクリックする
UIメールEX画面が表示されます。
2. ツールバーの  ボタンをクリックする
メール送信画面が表示されます。
5. メッセージボックスにメッセージを入力する
送信できる文字数に制限があります。あと××文字の表示を確認してください。作成済みのメッセージがあるときは、[差込] ボタンをクリックし、ファイルを選択します。



3. [手入力] ボタンをクリックする
アドレス帳に登録済みのアドレスを使う場合は、[アドレス帳] ボタンをクリックし、アドレスを選択します。
「5.2.4.3 アドレス帳への登録」
( 5-14 ページ)
4. 相手の電話番号を入力し、[OK] ボタンをクリックする
サブアドレスがある場合は、右側のボックスに入力します。
6. [送信] ボタンをクリックする
7. 送信結果が表示されたら [OK] ボタンをクリックする
AtermのSD/RDランプが消灯していることも確認してから、[OK] ボタンをクリックしてください。



5.4.2 受信した UUI メールを読む

UUIメールが届いたら、UUIメールEXを起動してメールを読みます。

Windowsの場合

1. タスクトレイのUUIメールEXインジケータが青色に点滅する
2. タスクトレイのUUIメールEXインジケータを右クリックし、ポップアップメニューから[UUIメール受信]を選択する
3. UUIメール参照画面でメッセージを確認する



UUIメールEX画面ではすべてのメールを表示できます。



Macintoshの場合

1. メール到着のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックする
2. UUIメールの受信箱でメッセージを確認する

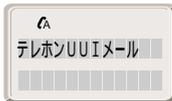


5.4.3 テレホンUUIメールを送信する

Atermのアナログポートに接続した電話機を使って、Atermを使っている相手にUUIメールを送ります。

1. 電話機の手話器をあげる

2. ***** ***** **2** を順に押す



3. ***** **1** を順に押す



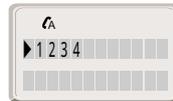
4. ***** [相手の電話番号] **#** を順に押す

電話番号の代わりに ***** **3** を押すと
前回の電話番号が表示されます。

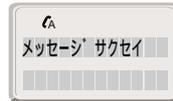


5. サブアドレスを付ける場合は、***** [サブアドレス] を押す

サブアドレスは15ケタまで入力できます。
サブアドレスを付けない場合は、手順6に進みます。



6. **#** を押します。



7. ***** [メッセージ] を押す

「5.6 メッセージの入力方法」(5-32ページ)

***** **3** を押すと前回のメッセージが表示されます。



8. **#** **#** を押す



9. 手話器を戻す

? こんなときは

メッセージの送信を中止するときは、手順8で最後の **#** を押す前に手話器を戻します。

● ご参考

メッセージの送信が失敗したときは、「ソウシンシッパイサイソウシンシテクダサイ」が表示されます。再送信してください。

■ テレホンUIメールを再送信する ■

テレホンUIメールの送信が失敗したときや、同じ相手にもう一度同じメッセージを送りたいときはメールを再送信します。

📌 ご注意

- ほかのUIメールをテレホンUIメールとして再送信したり、逆に、テレホンUIメールをテレホン遊遊メール(ショートメッセージ)やテレホン遊遊メール(電子メール)の相手へ送信することはできません。
- 前回送信したメールと違う種類のUIメールを再送信しようとする、「サイソウシンデキマセン アテサキマチガイ」が表示されます。
- テレホンUIメールを再送信するときは、次の順番に電話機のボタンを押します。

電話機の手話器をあげる 手話器を戻す

5

UIメール

5.4.4 受信したテレホンUIメールをディスプレイに表示する

受信したテレホンUIメールは、Atermのディスプレイに表示して確認できます。

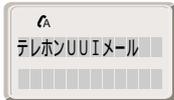
📌 ご注意

AtermITX80、ITX80/Dでは、全角カタカナ表示になります。

📌 ご参考

- パソコンから送信したUIメールも、以下の方法で確認できますが、メッセージに全角文字が含まれる場合は、表示できず、ディスプレイに「PCメールデス」が表示されます。UIメールEXを使って内容を確認してください。
- テレホンUIメールもUIメールEXで読むことができます。しかし一度UIメールEXで読んだメールはAtermから消去されるため、以下の方法で読むことはできません。

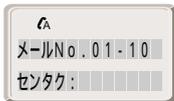
1. 電話機の受話器をあげる
2. ***** ***** **2** を順に押す



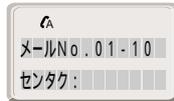
3. ***** **2** を順に押す



4. *****



5. [見たいメールの番号] ***** を順に押す
受信したメールには01からの番号が順番に付いています。1行目に選択できるメール番号の範囲が表示されます。

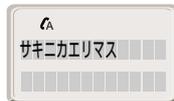


メッセージが表示されます。



メッセージが長いときは、**1** を押して続きを見ます。

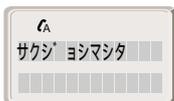
6. 次の番号のメールを表示させるときは、**3** を押す。



●ご参考・・・・・・・・

- 前の番号のメールを表示させるときは、**4** を押します。
- 前のメールまたは次のメールがないときは「メールガアリマセン」が表示されます。このあと、何かのボタンを押すと、手順4の画面に戻ります。
- 表示しているメール番号を確認するときは、**2** を押します。
- メール番号選択画面に戻るときは、**5** を押します。

7. 表示中のメールを削除するときは、***** ***** を押す
8. 受話器を戻す



●ご参考・・・・・・・・

- メールを受信数が50を超えると、古いメールから順に削除され、メール番号がずれていきます。
- メールを削除した場合も同様にメール番号がずれていきます。

5.5 遊遊メール

UIメールとして送信したメールを、BIGLOBEのサーバーが通常の電子メールの形式に変換し、インターネット上に送信します。

◆ ご注意

初めて利用するときは、「5.2 準備」(☞5-5ページ)からお読みになり必要な準備作業を行ってください。

5.5.1 遊遊メールを送る

UIメールEXを使って、遊遊メールを送信します。遊遊メールは送られた相手から見ると、BIGLOBEから送った通常の電子メールと同様に見えます。

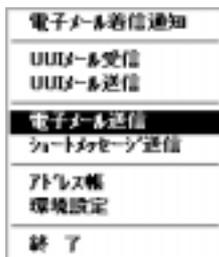
● ご参考

相手がAtermを使用していない場合、相手からの返信メールはBIGLOBEのメールアドレス宛に送ってもらいます。

Atermを使用している場合は、UIメールで返信をもらうことも可能です。

Windowsの場合

1. タスクトレイのUIメールEXインジケータを右クリックし、ポップアップメニューから「電子メール送信」を選択する
2. UIメール送信画面が表示されたら、[手入力] ボタンをクリックする
アドレス帳に登録済みのアドレスを使う場合は、[追加] ボタンをクリックし、アドレスを選択します。



- 相手の電子メールアドレスを入力し、[OK] ボタンをクリックする



- 下のボックスにメッセージを入力する
作成済みのメッセージがある場合は、[差込ファイル] ボタンをクリックしてそのファイルを選択します。



- [送信] ボタンをクリックする

- 送信結果画面が表示されたら、[OK] ボタンをクリックする



- 遊遊メールを受信すると相手には、次のように届きます。



Macintoshの場合

- UIメールEXフォルダの中の、UIメールEXアイコンをダブルクリックする

UIメールEX画面が表示されます。

- ツールバーの  ボタンをクリックする

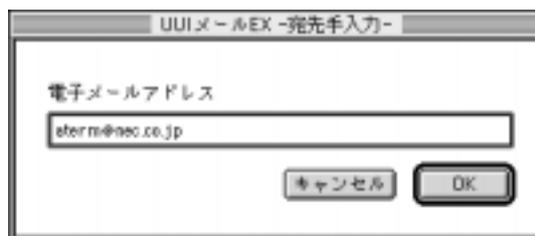
- [手入力] ボタンをクリックする

アドレス帳に登録済みのアドレスを使う場合は、[アドレス帳] ボタンをクリックし、アドレスを選択します。

「5.2.4.3 アドレス帳への登録」
( 5-14 ページ)



- 相手の電子メールアドレスを入力し、[OK] ボタンをクリックする



- メッセージボックスにメッセージを入力する

作成済みのメッセージがあるときは、[差込] ボタンをクリックし、ファイルを選択します。



6. [送信]ボタンをクリックする

7. 送信結果が表示されたら[OK]ボタンをクリックする

AtermのSD/RDランプが消灯していることも確認してから、[OK]ボタンをクリックしてください。

5.5.2 テレホン遊遊メールを送る

Atermのアナログポートに接続した電話機から、遊遊メールを送ります。遊遊メールに必要な準備作業に加えて、テレホン遊遊メール利用時のみに必要な、準備作業があります。初めてテレホン遊遊メールを使うときは、次のページをお読みください。

「5.2.5 テレホン遊遊メール利用の準備」(☞5-16ページ)

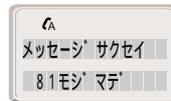
5.5.2.1 ポケットベル・PHS・デジタル携帯電話へショートメッセージを送る

遊遊メールサービスを利用して、ポケットベルやPHS・デジタル携帯電話にショートメッセージを送ります。

1. 電話機の手話器をあげる

4. [#]を押す

2. [*] [*] [3] [ドメイン名の短縮番号(1~8)]を順に押す



事前に登録したドメインの短縮番号を指定します。

5. [*] [メッセージ]を押す

「サーバーのドメイン名の登録」(☞5-16ページ)

「5.6 メッセージの入力方法」(☞5-32ページ)

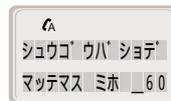
[*] [3] を押すと前回のメッセージが表示されます。



3. [*] [相手のポケットベル番号]を順に押す

6. [#] [#] を押す

パスワードがある場合は、ポケットベル番号に続けてパスワードも入力してください。



7. 手話器を戻す

? こんなときは

メッセージの送信を中止するときは、手順6で最後の [#] を押す前に手話器を戻します。

●ご参考・・・・・・・・

- ・ ドメインネーム登録のときにサービスネームを登録した場合は、手順2でサービスネームが表示されます。登録していない場合は、ドメイン番号が表示されます。
- ・ 手順3でパスワードに“_”を入力したいときは、[*] [9] [1] と押します。
- ・ 手順3で「相手のポケットベル番号」の代わりに [*] [3] を押すと前回の電話番号が表示されます。
- ・ メッセージの送信が失敗したときは、「ソウシンシッパイサイソウシンシテクダサイ」が表示されます。再送信してください。

■ テレホン遊遊メール(ショートメッセージ)を再送信する ■

テレホン遊遊メールを使った、ポケットベル・PHS・デジタル携帯電話への送信が失敗したときや、同じ相手にもう一度同じメッセージを送りたいときはメールを再送信します。

▼ご注意・・・・・・・・

ほかのUIメールをテレホン遊遊メール(ショートメッセージ)として再送信したり、逆に、テレホン遊遊メール(ショートメッセージ)を、テレホンUIメールやテレホン遊遊メール(電子メール)の相手へ送信することはできません。

前回送信したメールと違う種類のUIメールを再送信しようとする、「サイソウシンデキマセン アテサキマチガイ」が表示されます。

テレホン遊遊メール(ショートメッセージ)を再送信するときは、次の順番に電話機のボタンを押します。

電話機の受話器をあげる [*] [*] [3] [9] [#] 受話器を戻す

5.5.2.2 電子メールを送る

遊遊メールサービスを利用して、インターネットの電子メールを送ります。

1. 電話機の手話器をあげる

2. ***** ***** **4** **1** を順に押す



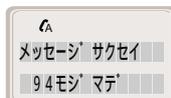
3. ***** [相手のメールアドレス] を順に押す

メールアドレスの入力方法は、メッセージの入力方法と同じです。
「5.6.1 文字コードを使って入力する」
(☞5-32ページ)

相手のメールアドレスの代わりに
***** **3** を押すと前回のメールアドレスが表示されます。



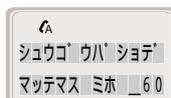
4. **#** を押す



5. ***** [メッセージ] を押す

「5.6 メッセージの入力方法」(☞5-32ページ)

***** **3** を押すと前回のメッセージが表示されます。



6. **#** **#** を押す

7. 手話器を戻す

短縮番号を使うには

上記で電子メールアドレスを指定する代わりに、電子メールアドレスを登録した短縮番号を指定できます。

手順2と手順3は次の操作に置き換えてください。

2. ***** ***** **4** **2** を順に押す

3. ***** [短縮番号1~9] を順に押す

入力した短縮番号にメールアドレスが登録されていないときは、「トウロクナシ」が表示されます。

? こんなときは・・・

メッセージの送信を中止するときは、手順6で最後の **#** を押す前に手話器を戻します。

● ご参考・・・・・・・・

メッセージの送信が失敗したときは、「ソウシンシツパイサイソウシンシテクダサイ」が表示されます。再送信してください。

■ テレホン遊遊メール(電子メール)を再送信する ■

テレホン遊遊メールを使った電子メールの送信が失敗したときや、同じ相手にもう一度同じメッセージを送りたいときはメールを再送信します。

ご注意

ほかのUIメールをテレホン遊遊メール(電子メール)として再送信したり、逆にテレホン遊遊メール(電子メール)を、テレホンUIメールやテレホン遊遊メール(ショートメッセージ)の相手へ送信することはできません。

前回送信したメールと違う種類のUIメールを再送信しようとする、「サイソウシンデキマセン アテサキマチガイ」が表示されます。

テレホン遊遊メール(電子メール)を再送信するときは、次の順番に電話機のボタンを押します。

電話機を受話器をあげる 受話器を戻す

5.6 メッセージの入力方法

テレホンUIメール・テレホン遊遊メールのメッセージの入力方法です。文字コードを使って1文字ずつ入力する方法、定型文を使う方法、自作伝言文を使う方法があります。

5.6.1 文字コードを使って入力する

オリジナルメッセージや、メールアドレス・ドメインネームなどは、文字コードを使って入力します。

以下の文字コード一覧表をご覧になって、入力したい文字のコードを順番に押ししてください。

例「アシタハ?」の場合

と入力します

なお、文字種の切り替えは、以下のボタンを押してください。

英字の大文字 / 小文字の切り替え

数字

文字

■ 文字コード一覧表 ■

文字	コード	文字	コード	文字	コード	文字	コード	文字	コード
ア	11	イ	12	ウ	13	エ	14	オ	15
カ	21	キ	22	ク	23	ケ	24	コ	25
サ	31	シ	32	ス	33	セ	34	ソ	35
タ	41	チ	42	ツ	43	テ	44	ト	45
ナ	51	ニ	52	ヌ	53	ネ	54	ノ	55
ハ	61	ヒ	62	フ	63	ヘ	64	ホ	65
マ	71	ミ	72	ム	73	メ	74	モ	75
ヤ	81	(82	ユ	83)	84	ヨ	85
ラ	91	リ	92	ル	93	レ	94	ロ	95
ワ	01	ヲ	02	ン	03	ゝ	04	゜	05
A	16	B	17	C	18	D	19	E	10
F	26	G	27	H	28	I	29	J	20
K	36	L	37	M	38	N	39	O	30
P	46	Q	47	R	48	S	49	T	40
U	56	V	57	W	58	X	59	Y	50
Z	66	?	67	!	68	-	69	/	60
¥	76	&	77	_	78	,	79	%	70
*	86	#	87	スペース	88	.	89	@	80
1	96	2	97	3	98	4	99	5	90
6	06	7	07	8	08	9	09	0	00
訂正	* *	頁メクリ	* 1	-	* 2	前回のデータ	* 3	[* 4
大/小文字	* 5]	* 6	スペース	* 8	_	* 91	;	* 92注1

注1:遊遊メールでは使用できません。

注2:AtermITX80、ITX80/Dでは、半角の¥、]、%、[を入力するとスペースが表示されますが、メールは正しく送信されます。

◆ ご注意

入力可能文字数は、メッセージの種類などによって異なります。入力可能文字数を超えると、“ピッピッ”と鳴り、超えた文字は無視されます。

● 参考

メッセージの入力には、定型文や自作伝言文を使う方法もあります。

5.6.2 定型文や自作伝言文を入力する

あらかじめ登録されている定型文は、文の番号を入力するだけで入力できます。また、よく使う文章を自作伝言文として登録しておき、定型文と同じように使うこともできます。

1. [定型文・自作伝言文の番号] を押す

10～29: 定型文の番号

30～59: 自作伝言文の番号

■ 定型文一覧表 ■

番号	メッセージ	番号	メッセージ
10	デンワクダサイ	20	シキュウ!
11	オクレマス	21	OKデス
12	ヘンコウシマス	22	NGデス
13	チュウシデス	23	シュウゴウ!
14	サキニカエリマス	24	マッテテ!
15	ルスデンアリ	25	ナニシテルノ?
16	ジカンデス	26	ドコニイルノ?
17	ジタク	27	イマイソガシイ
18	カイシャ	28	ゴメンナサイ
19	ガッコウ	29	アリガトウ

5.6.3 自作伝言文を登録する

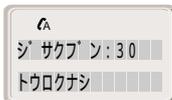
よく使うメッセージは、自作伝言文として登録しておきます。
メッセージ送信時には、自作伝言文の番号を指定するだけで入力できるようになります。

1. 電話機の受話器をあげる

2. を順に押す

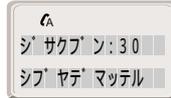


3. [自作伝言文の番号30～59] を順に押す



4. [メッセージ] を押す

文字コードを使ってメッセージを入力します。
最大22文字まで入力できます。



5. を押す

6. 受話器を戻す

5

メッセージの入力方法

● ご参考

- 手順3で誤って10～29を入力したときは、定型文が表示されます。 を押し
てから、番号を入力し直してください。
- 入力した文字を表示するときは、 を押します。
以降、 を押すたびにページが切り替わります。
- 文字を削除するときは、 を押します。1文字ずつ削除できます。

6. 情報表示

- ▶ 着信履歴や累積料金、回線状態などAtermが保持しているさまざまな情報を表示する方法を説明します。

6.1	着信履歴表示	6-2
6.2	着信履歴 for USB ユーティリティ (USB 専用).....	6-4
6.3	ITMUX ステータス for USB ユーティリティ (USB 専用).....	6-6
6.4	累積料金表示	6-10
6.5	各種情報表示	6-13

6.1 着信履歴表示

Atermのディスプレイに、今までにかかってきた相手の電話番号やかかってきた日時を順番に表示します。表示中の相手に電話をかけることもできます。ここでは、Aterm前面の操作ボタンを使う方法を説明します。電話機から操作する方法は、「3.2.8 着信履歴先発信」(☎3-15ページ)をお読みください。表示される内容は共通です。

●ご参考・・・・・・・・

- ・ 着信履歴 for USBユーティリティを使って、着信履歴を表示することもできます。相手の名前を表示したり、簡易電話帳機能を使うこともできます(6.2 着信履歴 for USBユーティリティ(USB専用))(☎6-4ページ)。
- ・ Atermには最新の着信履歴(発信者番号、着信時間、応答の有無、応答したアナログポートの情報)が50件まで蓄積されています。
- ・ 着信件数が50件を超えると、古いものから順に削除されます。

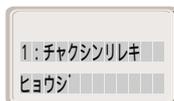
6

着信履歴表示

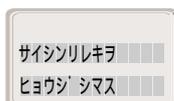
1. Menuボタンを押す



2. Enterボタンを押す

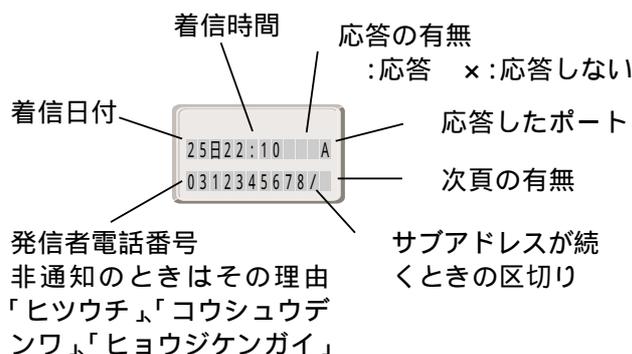


3. もう一度Enterボタンを押す

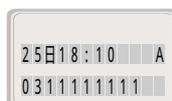


5秒後

最新の着信履歴が表示されます。



4. 1つ前の履歴を表示するときは、Selectボタンを押す



以降、Selectボタンを押すたびに、1件ずつ前にさかのぼって表示します。

5. Menuボタンを押す



通常の表示に戻ります。

AtermITX80、80/Dの場合、の応答時の「」は表示されません。

? こんなときは

通常の表示に戻すときは、Menuボタンを押します。また、操作中に20秒以上ボタンを押さないと、自動的に通常表示に戻ります。

■ 表示された相手に電話をかける ■

着信履歴に表示された相手に電話をかけます。

1. 相手の電話番号が表示されている状態でEnterボタンを押す
2. 呼出音が鳴っている電話機の手話器をあげる



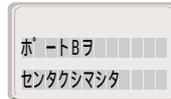
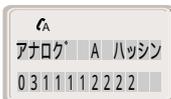
初期値ではアナログAポートにつないだ電話機が鳴ります。手話器をあげると、相手に自動的に電話をかけます。



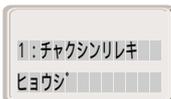
履歴先発のポートを変える

呼出音を鳴らす電話機のポートを変更できます。

1. Menuボタンを押す
5. Selectボタンでポートを切り替える
Selectボタンを押すたびに、ポートが順番に切り替わります。



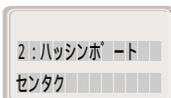
2. Enterボタンを押す



5秒後

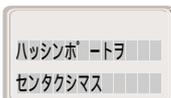


3. Selectボタンを押す



通常表示に戻ります。

4. Enterボタンを押す



5秒後



● ご参考

らくらくユーティリティの初期画面では、最新1件分の着信情報を確認できます。

6.2 着信履歴 for USB ユーティリティ

(USB 専用)

着信履歴 for USBユーティリティを使うと、次のようなことが簡単にできます。

- 着信履歴表示
Atermに保存された着信履歴情報をパソコンに表示します。
- 着信履歴先発信
着信履歴情報や簡易電話帳に登録された相手先に、パソコンから電話をかけることができます。
- 迷惑電話防止
着信履歴情報にある電話番号を迷惑電話防止リストに登録することができます。
- 着信ポップアップ
電話の着信時、相手の名前(簡易電話帳登録時)や電話番号(相手の電話番号が通知されたとき)を画面に表示します。
- Atermの時計を、パソコンの日付・時刻に合わせます。

ご注意

「着信履歴 for USBユーティリティ」は、Windows95/98のパソコンで、USBドライバがインストール済みで、AtermをUSBポートに接続している場合にご利用いただけます。Windows95/98のパソコンでもCOMポートに接続していたり、Windows3.1、WindowsNT3.51、WindowsNT4.0、Macintoshの場合は利用できません。

6.2.1 着信履歴 for USB ユーティリティのインストール

1. 添付CD-ROMをドライブにセットする
しばらくするとメニュー画面が表示されます。
2. メニューから[着信履歴 for USBのインストール]をクリックする
3. インストーラが起動したら、画面の指示に従ってインストールを行う

? こんなときは

「着信履歴 for USBユーティリティ」をアンインストールしたいときは、次の操作を行います。

- 1) Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、[設定]-[コントロールパネル]を選択する
- 2) [アプリケーションの追加と削除]を開いて[インストールと削除]タブを表示する
- 3) 一覧から「着信履歴 for USB」を選択し、[追加と削除]ボタンをクリックする

6.2.2 着信履歴 for USB ユーティリティを使う

「着信履歴for USBユーティリティ」は、Windowsを起動するたびに自動的に起動し、タスクトレイに[着信履歴for USB]インジケータが表示されます。[着信履歴for USB]インジケータをクリックすると、着信履歴for USB画面が表示されます。タスクトレイの中に[着信履歴for USB]がない場合は、[スタート]-[プログラム]-[AtermIT USBユーティリティ]-[着信履歴ユーティリティ]で起動することができます。

「着信履歴for USBユーティリティ」についての詳細はヘルプをお読みください。

● ご参考

環境設定

ダイヤル発信のデフォルトポート、接続機器の表示、着信情報ウィンドウの表示、着信履歴の保存件数などを設定できます。

メニューから[設定]-[動作環境]を選択してください。

6.3 ITMUX ステータス for USB ユーティリティ (USB 専用)



ITMUXステータスfor USBユーティリティを使用するには、「ITMUXステータス for USBユーティリティ」のインストールと「ITX80/ITX70らくらくユーティリティ」でのBOD設定の両方を行う必要があります。

■ ITMUX ステータス for USB ユーティリティの機能 ■

ITMUXステータスfor USBユーティリティには、次の3つの機能があります。

- ・ **チャンネル状態**
チャンネルの状態を表示するとともに、128kbpsマルチリンクPPP通信中にBチャンネルを1回線切断する(リンク削除)または切断したBチャンネルを再開する(リンク追加)を手動で選択できます。
- ・ **データポート状態**
データポートの状態が画面に表示されます。
- ・ **回線状態アイコン**
各回線の通信状態をタスクトレイに表示します。

■ ITMUX ステータス for USB ユーティリティのインストール ■

インストールにはAtermに添付のCD-ROMを使用します。

ご注意

ITMUXステータスfor USBユーティリティは、USBドライバソフトウェアをインストールしたパソコンで、AtermをUSBポートに接続した場合にお使いいただけます。Windows3.1、WindowsNT3.51、WindowsNT4.0、Macintoshでは使用できません。

1. 添付CD-ROMを、ドライブにセットする
しばらくすると、メニュー画面が表示されます。
2. メニューから[ITMUXステータス for USBのインストール]をクリックする
3. インストーラが起動したら、画面の指示に従ってインストールを行う

■ ITX80/ITX70 轻轻松松ユーティリティでのBOD設定 ■

1. 「フレックスBODで使用する」を選択する

スループットBODの「フレックスBODで使用する」を選択します。

『轻轻松松ユーティリティ画面兼設定記入シート』(2.2b/2.3b/2.4)

[データポート]ボタン [USB(B)ポート][USB(F)ポート][ITMUX設定]タブ
[MP・BOD機能]選択

-スループットBOD-

使用しない(N) 使用する(D) フレックスBODで使用する(F)

(初期値)

⚠️ ご注意

ITX80/ITX70轻轻松松ユーティリティがインストールされていない場合は、まずITX80/ITX70轻轻松松ユーティリティをインストールしてください(☞2-23ページ)。

■ ITMUX ステータス for USB ユーティリティを使う ■

起動方法

「ITMUXステータスfor USBユーティリティ」は、Windowsを起動するたびに自動的に起動し、タスクトレイに「ITMUXステータス」インジケータが表示されます。タスクトレイに「ITMUXステータス」インジケータが表示されていない場合は、[スタート]-[プログラム]-[AtermIT USBユーティリティ]-[ITMUXステータスユーティリティ]で起動してください。

[ITMUXステータス]インジケータをクリックすると、ITMUXステータスfor USB画面が表示されます。

チャンネル状態

「チャンネル状態」タブをクリックすると、B1・B2の各チャンネルの状態および接続されているポートを表示します。

マルチリンクの停止

- 1) タスクトレイ上のアイコンをクリックし、ITMUXステータスfor USBユーティリティのウィンドウを開きます。
- 2) 「マルチリンクの停止」をクリックします。

⚠️ ご注意

128kbpsマルチリンクPPP通信中でないときは、マルチリンク停止は機能しません。

マルチリンクの再開

- 1) タスクトレイ上のアイコンをクリックし、ITMUXステータスfor USBユーティリティのウィンドウを開きます。
- 2) 「マルチリンクの再開」をクリックします。

◆ ご注意

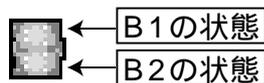
64kbpsマルチリンクPPP通信中でないときは、マルチリンク再開は機能しません。

データポート状態

「データポート状態」タブをクリックすると、データ通信中の場合、各ポートごとに「接続先」「状態」「使用チャネル」「MUX参加の可否」を表示します。

通信状態の確認

タスクトレイ上に通信状態を表すアイコン(回線状態アイコン)が表示されます。



アイコンの色は、B1・B2それぞれの通信状態を表しています。

空き	アナログ通信	同期通信		非同期通信		PIAFS通信		マルチリンク通信	
		自ポート	他ポート	自ポート	他ポート	自ポート	他ポート	自ポート	他ポート
緑	黄色	赤	黒	紫	黒	水色	黒	赤 + M	黒

自ポートのマルチリンク通信時は、アイコン上に「M」マークが表示されます。また、自ポートが参加していないMUXデータ通信は、点滅で表現されます。詳しくはヘルプを参照してください。

アイコンをポイントするとツールチップヘルプが表示され、回線状態がわかります。



詳しい回線状態は、「チャンネル状態」タブでご確認ください。

ITMUXステータスfor USBユーティリティのアンインストール

ITMUXステータスfor USBユーティリティが起動している場合は、アンインストールする前に終了させてください。

コントロールパネルから[アプリケーションの追加と削除]を開き、[ITMUXステータスfor USBユーティリティ*.**]を選択し、[追加と削除]ボタンをクリックします。

ITMUXステータスfor USBユーティリティの終了のしかた

タスクトレイのアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから[終了]をクリックしてください。

6.4 累積料金表示

今までにかけた通話料金の合計をポートごとに表示できます。Atermのディスプレイで確認する方法と、らくらくユーティリティの画面で確認する方法があります。累積料金は、INSテレホーダイ利用時などには実際の請求金額と異なります。なお、累積料金はいつでもクリアすることができます。クリアすると、累積料金がふたたび0からカウントされます。

6.4.1 Aterm のディスプレイに表示する

Aterm前面の操作ボタンを使って、各ポートの累積料金を表示します。

1. Menuボタンを押す



2. Selectボタンを押す



3. Enterボタンを押す



4. Selectボタンでポートを切り替える



Selectボタンを押すたびに、表示されるポートが順番に切り替わります。

データポート

USB(B)ポート

USB(F)ポート(ITX80、80/Dのみ)

アナログAポート

アナログBポート

アナログCポート

5. Menuボタンを押す



通常の表示に戻ります。

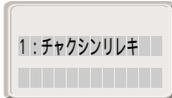
? こんなときは・・・

- 通常の表示に戻るときは、Menuボタンを押します。また、操作中に20秒以上ボタンを押さないと、自動的に通常の表示に戻ります。
- 電話機からの操作で、Atermのディスプレイに累積料金を表示することもできます(「8.電話機からの設定操作」(P.8-8ページ))。ただし、使用中のポートが1つでもあるときは表示できません。また、表示中には電話が着信できません。

■ 累積料金をクリアする ■

累積料金をクリアし、ふたたび0円からカウントされます。

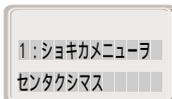
1. Menuボタンを押す



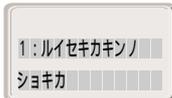
2. Selectボタンを3回押す



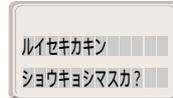
3. Enterボタンを押す



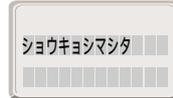
5秒後



4. Enterボタンを押す



5. クリアしてよいときは、もう一度Enterボタンを押す



5秒後



通常が表示に戻ります。

? こんなときは

途中でクリアを中止したくなったときは、手順5でMenuボタンを押してください。

● ご参考

電話機からの操作で、累積料金をクリアすることもできます。

「8.電話機からの設定操作」(☎8-8ページ)

6.4.2 らくらくユーティリティで表示する

らくらくユーティリティの初期画面にも、各ポートの累積料金が表示されます。

1. らくらくユーティリティを起動する

初期画面に各ポートの累積料金が表示されます。



? こんなときは

累積料金をクリアしたいときは、[累積クリア] ボタンをクリックします。確認メッセージが表示されたら [はい] ボタンをクリックし、メモリ書き込み終了のメッセージが表示されたら [OK] ボタンをクリックしてください。

6.5 各種情報表示

らくらくユーティリティを使うと、回線状態や発信番号などさまざまな情報を確認できます。

◆ ご注意

情報を表示している間は通信できません。

1. らくらくユーティリティを起動する

初期画面には、以下の情報が表示されます。最新の情報に更新するときは、[更新] ボタンをクリックしてください。

直前のデータ送信料金を表示します。

最新の着信電話番号を表示します。

最後に発信した電話番号を表示します。



Atermが接続されているポートを表示します。

現在までの電話料金の累計を表示します。

2. [高度な情報] ボタンをクリックする

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(初期)

[高度な情報] ボタン

回線の状態などが表示されます。最新の情報に更新するときは、[更新] ボタンをクリックしてください。



発信側のデータポートの切断理由と切断した場所を表示します。発信したけれど相手と接続できなかった場合に、原因を探ることができます。切断理由と生成源は、INSネット64から通知されたものです。「付録.6 切断理由・診断情報・生成源表示一覧」(付-11ページ)

INSネット64のレイヤ1同期、レイヤ2リンクが正常に確立しているかを表示します。緑色なら正常、灰色なら異常です。「12.お困りのときには」(付-12-2ページ)

データポートの各信号線の状態を表示します。緑色のときはオン、灰色のときはオフです。

Atermが着信を拒否した理由を表示します。データ、USB(B)、USB(F)、Aポート、Bポート、Cポートに表示されるコードは、診断情報です。「付録.6 切断理由・診断情報・生成源表示一覧」(付-12ページ)

7. USB ネットワーク

- ▶ 1 台の Aterm に複数のパソコンを接続して、簡易 LAN を構築する方法を説明します。

7.1	USB ネットワークとは？	7-2
7.2	準備	7-6
7.3	サーバーパソコンの設定	7-9
7.4	クライアントパソコンの設定	7-18
7.5	USB ネットワークの使い方	7-23
7.6	外部から着信可能なダイヤルアップサーバー	7-26

7.1 USB ネットワークとは？

USBネットワークとは、1台のAtermに同時に複数のパソコンを接続することによって、簡易LANを構築するものです。イーサネットケーブルで接続するLANと違い、ネットワークボードが不要なので、手軽に始めることができます。

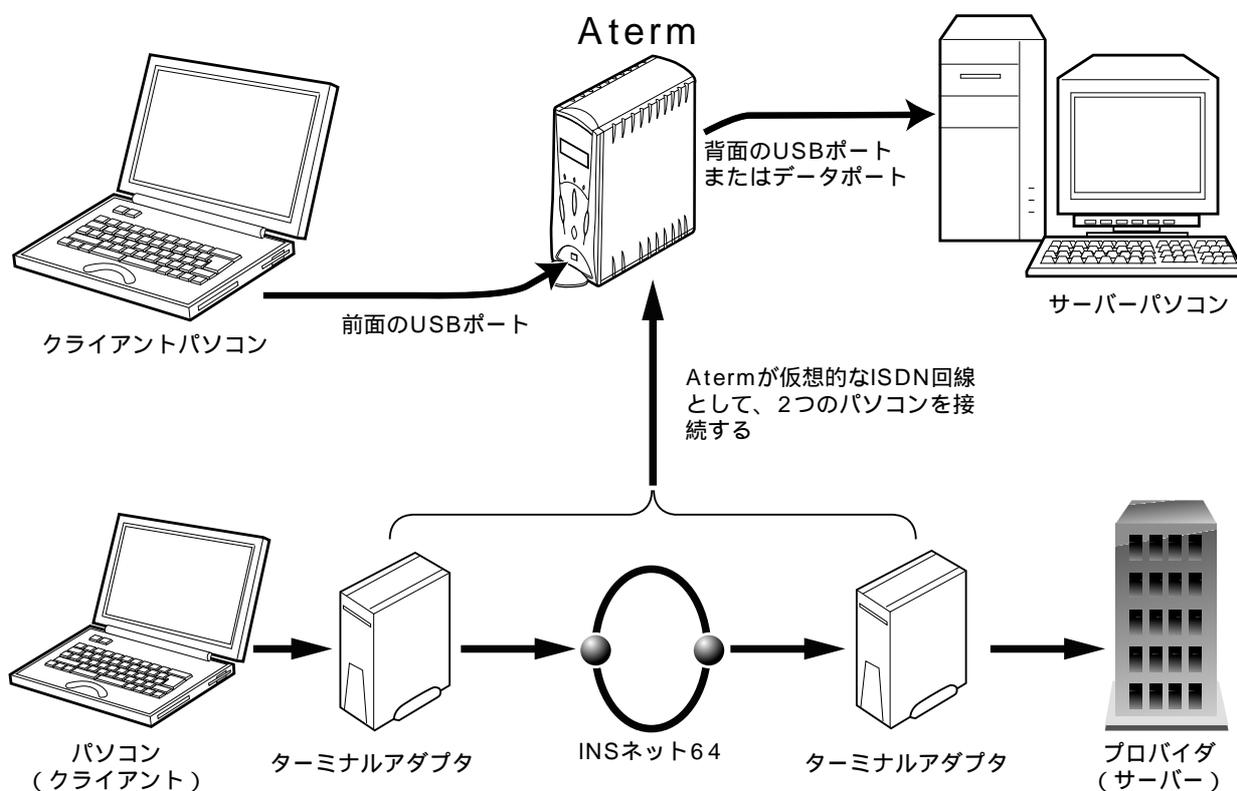
サーバー側となるパソコンでファイルやプリンタの共有を設定しておく、クライアント側のパソコンからサーバー側のファイルにアクセスしたり、クライアント側からサーバーに接続したプリンタで印刷できるようになります。

この章では、サーバーの役目を果たすパソコンをサーバーパソコン、クライアントとなるパソコンをクライアントパソコンと呼ぶことにします。

■ USB ネットワークのしくみ ■

USBネットワークでは、1台のAtermの中に、INSネット64につながれた2つのターミナルアダプタによる仮想的なネットワークが構築されています。

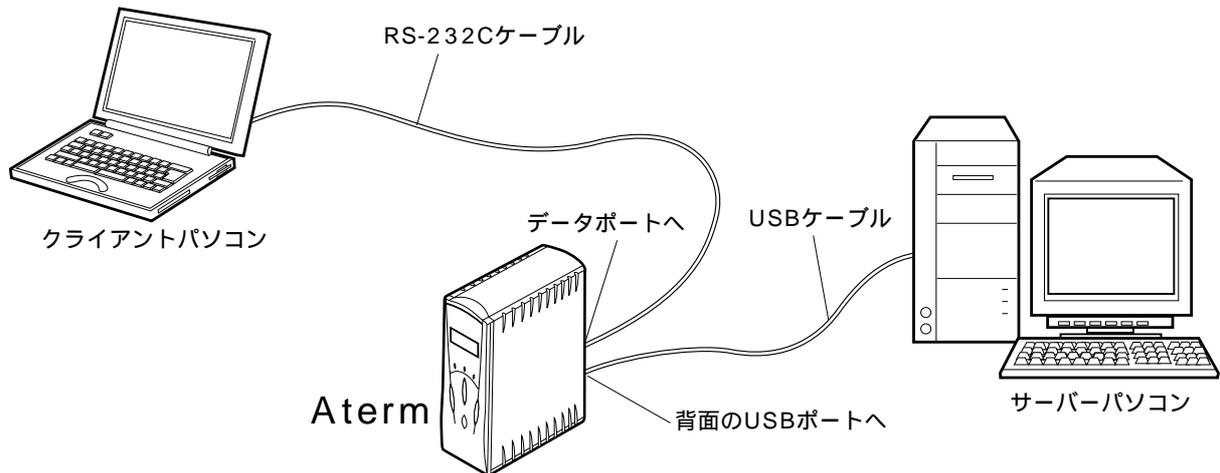
インターネットプロバイダに接続するのと同様に、サーバーパソコンにダイヤルアップ接続して利用します。



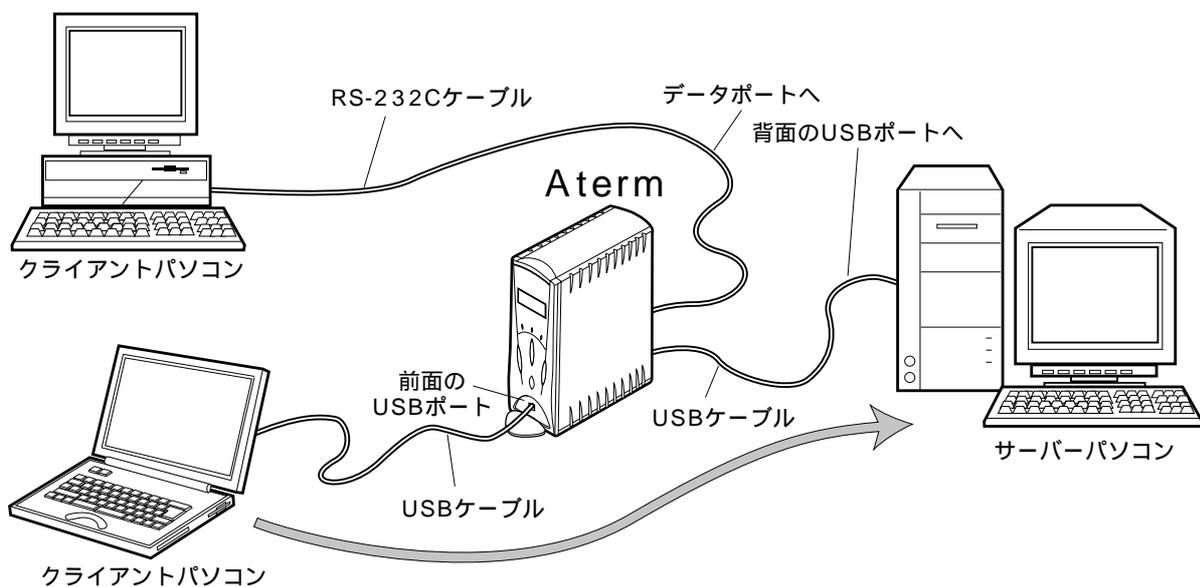
■ USB ネットワークの接続図 ■

ITX70/Dの場合、データポートと背面USBポートにパソコンを接続します。ITX80/D、ITX80の場合、データポート、前面USBポート、背面USBポートの3つのポートにパソコンを接続できますが、同時に通信できるのは、2台のパソコンだけです。

ITX70/Dの場合



ITX80/D、ITX80の場合



●ご参考・・・・・・・・

ネットワークで同時に通信できる組み合わせは下記のとおりです。

- ・ 前面USBポート データポート
- ・ 背面USBポート データポート
- ・ 前面USBポート 背面USBポート

■ サーバーとクライアント ■

一般的にサーバーとは、ネットワーク上のほかのコンピュータに資源を提供するコンピュータ、クライアントとは、サーバーの資源を利用するコンピュータです。USBネットワークでの資源とは、サーバーに直接接続されたプリンタと、サーバー上のファイルです。USBネットワークを構成することによって、クライアントからもプリンタが使えるようになり、サーバーが持つファイルを読み書きしたり、クライアントで作成したファイルをサーバーに渡すことができます。

サーバーとクライアントは役割の違いだけなので、Windows95/98を搭載し、Atermに接続できるパソコンなら、サーバーにもクライアントにもなることができます。サーバー側のパソコンが高性能でなければ動かないといったことはありません。Windows95/98が提供するダイヤルアップサーバープログラムをインストールし、ダイヤルアップ接続を可能にすると、サーバーになります。また、サーバーとなるパソコンをAtermのどのポートに接続しなければならないといった制限もありません。

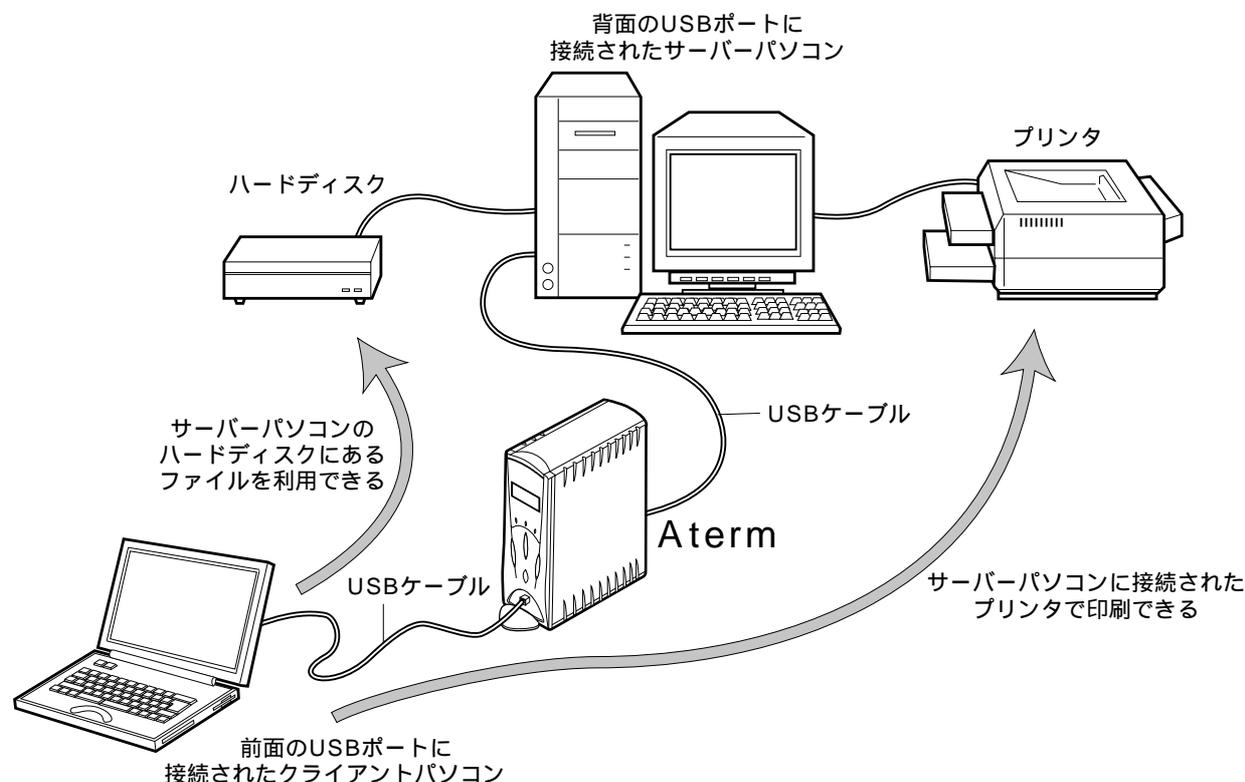
ご注意

サーバーパソコンからクライアントパソコンのファイルやプリンタを利用することはできません(クライアントパソコンのファイルを、サーバーパソコンにコピーすることは可能です)。

■ 利用例 ■

実際の構成例を以下に示します。

デスクトップパソコンを背面のUSBポートに接続してサーバーに、ノートパソコンを前面のUSBポートに接続してクライアントにします。



デスクトップパソコンは今まで通り利用できますが、ノートパソコンから次のようなことができるようになります。

- ・ デスクトップパソコンのファイルをノートパソコンにコピーする
- ・ ノートパソコンのファイルをデスクトップパソコンにコピーする
- ・ ノートパソコンからデスクトップパソコンに接続されているプリンタを使用する
- ・ デスクトップパソコンのファイルを、ノートパソコンから開く

デスクトップパソコンにあるファイルをノートパソコンから直接使うことができます。たとえば、デスクトップパソコン上のファイルをノートパソコンからダブルクリックで開き、編集できます。

▼ ご注意

サーバーパソコンのファイルを、クライアントパソコンから直接開く場合、ネットワーク機能をサポートしたアプリケーションを使う必要があります。サポートされていない場合、1つのファイルをサーバー側とクライアント側で同時に処理しようとして、ファイルが壊れることがあります。

7.2 準備

USBネットワーク構築のために必要な作業について説明します。

7.2.1 必要なハードウェア

USBネットワーク機能を利用するには、以下の機材が必要です。

- ・サーバー用パソコン
- ・クライアント用パソコン

Windows98またはWindows95が動作するもの。ただし、どちらか1台は、USBポートを搭載している必要があります。

- ・ケーブル2本

データポートとUSBポートに接続する場合は、Atermに添付のケーブルで間に合います。ITX80/Dをお使いで、パソコンを2台ともUSBポートに接続する場合は、USBケーブルがもう1本必要です。別売のUSBケーブルをお求めください。

USBケーブル PC-IT/K02

7

準備

7.2.2 必要なソフトウェア

■ USB ドライバ、モデム情報などの組み込み ■

USBネットワークを使う前提条件としては、サーバーパソコンとクライアントパソコン双方とも、Atermに接続されインターネットにダイヤルアップ接続可能な状態となっている必要があります。

パソコンを1台ずつAtermに接続し、らくらくウィザードを使って設定するのが一番簡単な方法です。それぞれのパソコンがインターネットに接続できるところまで確認してください。(☞第2章・第4章)

● ご参考

- ・ ウィザードによる設定がうまくいかない場合などは、USBドライバ、モデム情報、ダイヤルアップアダプタを手動で組み込んでください。
- ・ ハイパーターミナルを使って、接続状態を確認することもできます。
「12.4 ハイパーターミナルで接続を確認する」(☞12-27ページ)

■ ダイヤルアップサーバープログラム ■

サーバーパソコンには、ダイヤルアップサーバープログラムをインストールします。ダイヤルアップサーバープログラムは、クライアントパソコンからの着信を受け付け、クライアントパソコンと通信を行うためのものです。

ダイヤルアップサーバープログラムは、Windows 98に含まれています。Windows 95には含まれていませんが、以下のモジュールを入手して利用できます。

- ・ マイクロソフト社のMicrosoft Plus!という製品を別途購入する
- ・ ダイヤルアップネットワークVer.1.3というWindows 95のアップデートモジュールをMicrosoftのホームページから入手する

URLは次のとおりです。

http://www.microsoft.com/japan/windows/dun1_3/

ご注意

- ・ URL、名称などは、マイクロソフト社の都合により変更される可能性があります。
- ・ ダイヤルアップサーバープログラムのインストール時、Windows 98/Windows 95のインストールCD-ROMやフロッピーディスクが必要になることがあります。

■ Microsoft ネットワーク ■

USBネットワークは、Windows 98/Windows 95が持つMicrosoftネットワーク機能を利用して構成します。Microsoftネットワークを構築するためには、次の3つのコンポーネントを組み込む必要があります。

アダプタ

通信を行うためのハードウェアやそれを利用するためのデバイスドライバのこと。USBネットワークでは、「ダイヤルアップアダプタ」を使用します。サーバーパソコンとクライアントパソコンの両方に必要です。

プロトコル

通信を行う場合の手順などの約束ごとです。実際には、これを実現するためのプログラムを指します。Microsoftネットワークでは、TCP/IP、NetBEUI、IPXの3つのプロトコルが利用可能ですが、USBネットワークでは、「NetBEUI」の利用を推奨します。サーバーパソコンとクライアントパソコンの両方で同じプロトコルを使わなければなりません。

サービス/クライアント

サービスは、資源の提供を行うサーバー側で実行するプログラムで、サービスの提

供を受ける側で実行するのがクライアントです。
USBネットワークでは、サーバーパソコンに「マイクロソフトネットワーク共有サービス」、クライアントパソコンに「Microsoftネットワーククライアント」を使用します。

ご注意

USBネットワークでも、プロトコルとして「TCP/IP」を利用することは可能ですが、特殊な設定が必要になること、ネットワークコンピュータにサーバーマシンが表示されないなどの理由で、利用を推奨していません。本書では、NetBEUIの組み込み方についてのみ説明します。

また、すでに、インターネットアクセス用にTCP/IPが組み込まれている環境にNetBEUIプロトコルを追加しても問題はありません。

7.3 サーバパソコンの設定

サーバパソコンの設定方法について説明します。順番に作業を進めてください。

注意

- お使いの環境によっては、これから組み込むネットワーク関係のモジュールが、すでに組み込まれていることがあります。その場合、新たに組み込みを行う必要はありません。
- 標準以外のモジュールが組み込まれていたり、バージョンアップを行った場合など、以後で説明する画面とは異なる画面が表示されることがあります。その場合、実際の画面にしたがって作業を行ってください。

7.3.1 ダイヤルアップサーバプログラムのインストール

Windows 98には、ダイヤルアップサーバプログラムが含まれています。コントロールパネルを使って、ダイヤルアップサーバをインストールします。Windows 98のCD-ROMが必要になることがありますので、用意しておいてください。

- Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、[設定]-[コントロールパネル]を選択する
- [アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックで開き、[Windowsファイル]タブを表示する
- [ファイルの種類]から「通信」を選択し、[詳細]ボタンをクリックする



4. [ファイルの種類]の[ダイアルアップ サーバー]をチェックし、[OK]ボタンをクリックする



ファイルがコピーされます。
ディスクの挿入メッセージが表示されたときは、Windows 98のCD-ROMをセットしてください。

●ご参考・・・・・・・・

Windows 95には、ダイアルアップサーバープログラムが含まれていません。ダイアルアップサーバープログラムを入手して、インストールを行ってください。

「ダイアルアップサーバープログラム」(7-7ページ)

インストール方法については、ダイアルアップサーバープログラムが含まれるそれぞれの製品、モジュールに添付の文書の指示に従ってください。

7.3.2 ネットワークの設定

サーバーパソコンへのネットワーク機能の組み込みは、[コントロールパネル]の[ネットワーク]で行います。[ネットワーク]ダイアログボックスの[OK]ボタンをクリックすると、パソコンが再起動されるので、以下の手順を連続して行い、すべての設定の終了後に[OK]ボタンをクリックするようにします(1回ごとに再起動しても問題はありません)。

- Microsoftネットワーク共有サービス
- NetBEUIプロトコル
- コンピュータ名

■ Microsoft ネットワーク共有サービスを組み込む ■

Microsoft ネットワーク共有サービスを組み込み、プロパティを設定します。

1. Windows の[スタート] ボタンをクリックし、[設定]-[コン트롤パネル] を選択する
2. [ネットワーク] アイコンをダブルクリックで開き、[ネットワークの設定] タブを表示する
3. [ファイルとプリンタの共有] ボタンをクリックする



4. 両方のチェックボックスをチェックし、[OK] ボタンをクリックする



Microsoft ネットワーク共有サービスが追加されます。

5. [ネットワークの設定] タブで [Microsoft ネットワーク共有サービス] を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックする



6. [プロパティ] から「LM アナウンス」を選択し、[値] に「はい」を選択する



7. [プロパティ] から「ブラウズマスタ」を選択し、[値] に「有効」を選択する

8. [OK] ボタンをクリックする



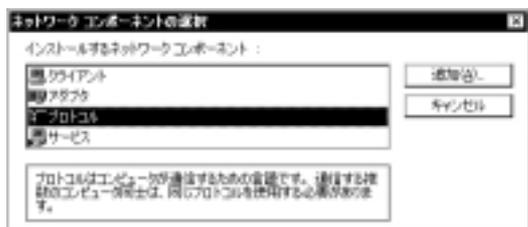
●ご参考・・・・・・・・

- ・「LMアナウンス」とは、パソコンがネットワークに接続したときに、接続したことを他のパソコンにアナウンスする機能です。この機能により、他のパソコンは、新しくネットワークに参加したパソコンを見つけ、ネットワークコンピュータフォルダにアイコンを追加します。
- ・「ブラウズマスタ」を有効にすると、そのパソコンは、ネットワーク内のパソコンのリストを保持し、他のマシンにその情報を提供するようになります。

■ NetBEUI を組み込む ■

USBネットワークでは、プロトコルとしてNetBEUIを使用します。以下の手順でNetBEUIを追加してください。

1. [ネットワークの設定] タブに戻り[追加] ボタンをクリックする
2. [インストールするネットワークコンポーネント] から「プロトコル」を選択し、[追加] ボタンをクリックする
3. [製造元] から「Microsoft」を、[ネットワークプロトコル] から「NetBEUI」を選択し、[OK] ボタンをクリックする



NetBEUIが追加されます。

■ コンピュータ名を設定する ■

サーバーパソコンのコンピュータ名とワークグループ名を設定します。

1. [識別情報] タブをクリックする
2. コンピュータ名、ワークグループ名を入力する

コンピュータ名には適当な名前を指定します。ほかのパソコンの名前と重ならないようにしてください。ワークグループ名は、クライアント側(ネットワークで共通の名前)と同じ名前にします。



⚠️ ご注意

- コンピュータ名は半角英数字15文字以内で指定します。スペースを入れることはできません。
- ほかのパソコンと同じ名前を付けるとUSBネットワークを利用できなくなります。
- ワークグループ名は、同じく半角英数字15文字以内で指定します。スペースを入れることはできません。同じネットワークのパソコンすべてに同じ名前を設定します。ワークグループ名が違くと、USBネットワークを利用できなくなります。

■ 再起動する ■

ネットワークのすべての設定が終わったら、[OK]ボタンをクリックします。必要なファイルのコピーのあと、パソコンを再起動します。

1. [OK]ボタンをクリックする
ファイルのコピーが行われます。
途中で、Windowsのセットアップメッセージが表示されたら、Windows98 / Windows95のCD-ROMをドライブにセットアップしてください。
2. 再起動メッセージが表示されたら、[再起動]ボタンをクリックする

⚠️ ご注意

再起動を行わないと、モジュールの組み込みや設定が完了せず、パソコンが不安定な状態になります。この状態で作業を続けると、動作がおかしくなったり、停止してしまうことがあります。必ずここでパソコンを再起動してください。

7.3.3 ダイヤルアップサーバーの設定

ネットワークの設定が終わったら、ダイヤルアップサーバーの設定を行い、サーバーパソコンに着信できるようにします。

1. マイコンピュータ内の[ダイヤルアップネットワーク]アイコンをダブルクリックで開く
2. メニューの[接続]-[ダイヤルアップサーバー]を選択する
6. [サーバーの種類]ボタンをクリックする
7. [ダイヤルアップサーバーの種類]から「PPP:インターネット」を選択する
8. 詳細オプションの両方をチェックする



3. [AtermIT SYNC115]タブをクリックする



9. [OK]ボタンをクリックする

クライアント側からの接続待ちの状態になります。



4. [着信する]を選択し、[パスワードの変更]ボタンをクリックする
5. パスワードを設定し、[OK]ボタンをクリックする

[新しいパスワード]の欄に適切なパスワードを入力し、[新しいパスワードの確認]欄に同じパスワードをもう一度入力します。

ここで設定したパスワードを、クライアント側がダイヤルアップ接続時のパスワードとして入力します。



⚡ ご注意

- 複数のモデム情報を登録してある場合、上記画面のようにタブごとに着信する、しないを設定できます。しかし、実際に同時に着信できるのは1つだけです。このためUSBネットワークを使っている間は、他のモデムを介して着信することはできません。
- USBネットワーク用にダイヤルアップサーバーを動作させている場合でも、Atermのデータポートに着信があり、Atermが着信可能な設定になっていると、ダイヤルアップサーバーによって、外部からの接続が行われてしまいます。パスワードが一致しないと接続できませんが、セキュリティ上、INSネット64側から接続されたくない場合はデータポートへの着信を禁止する必要があります。

7.3.4 共有設定

サーバーパソコン側で、クライアントに公開するファイルやプリンタに共有設定を行います。共有設定をしていないファイルやプリンタは、クライアントからは利用できません(見えません)。

■ ファイルの共有設定 ■

標準状態では何も公開していない状態になっているので、ファイルの共有を行うためには、サーバーパソコンで共有の設定を行います。共有設定では、クライアントから見える名前(共有名またはシェア名といいます)を付けたり、アクセス権の種類、パスワードなどを設定します。

共有を設定する単位は、ドライブまたはフォルダです。ドライブに対して共有設定をすると、クライアントパソコンからサーバーパソコンのディスクをそのまま利用できるのです。使いやすくなります。ただし、クライアント側のアプリケーションから直接サーバーパソコンのファイルにアクセスするように設定した場合、サーバーパソコン側でハードディスク内のフォルダの位置を変えたり、別のドライブへ移動させたときに、クライアント側のアプリケーションの設定も変更しなければならないことがあります。

フォルダ単位で共有設定する場合は、クライアントから見える共有名はハードディスク上のフォルダ構成の影響を受けません。

1. 共有するフォルダを選択し、メニューから[ファイル]-[共有]を選択する



2. 共有名、アクセスの種類、パスワードを設定し、[OK]ボタンをクリックする

クライアントからの書き込みを許可する場合は、「フルアクセス」または「パスワードで区別」を選択してください。パスワードを設定しないと、クライアントからの利用時、パスワードが不要となります。



フォルダが共有されると、腕のマークが付きます。



■ プリンタの共有設定 ■

サーバーパソコンに接続してあるプリンタをクライアントパソコンから利用する場合、プリンタの共有設定を行い、共有名を付けておきます。

1. マイコンピュータの[プリンタ]アイコンをダブルクリックして開く
3. 共有名、パスワードなどを設定し、[OK]ボタンをクリックする



2. 共有するプリンタを右クリックし、ショートカットメニューから[共有]を選択する

メニューの[ファイル]-[共有]を選択しても同じことです。



パスワードを入力したときは、確認用にもう一度パスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

プリンタアイコンの下に腕マークが付きます。



7.4 クライアントパソコンの設定

クライアントパソコンの設定方法について説明します。順番に作業を進めてください。

◆ ご注意

- お使いの環境によっては、これから組み込むネットワーク関係のモジュールが、すでに組み込まれていることがあります。その場合、新たに組み込みを行う必要はありません。
- 標準以外のモジュールが組み込まれていたり、バージョンアップを行った場合など、以後で説明する画面とは異なる画面が表示されることがあります。その場合、実際の画面にしたがって作業を行ってください。

7.4.1 ネットワークの設定

クライアントパソコンへのネットワーク機能の組み込みは、[コントロールパネル]の[ネットワーク]で行います。[ネットワーク]ダイアログボックスの[OK]ボタンをクリックすると、パソコンが再起動されるので、以下の手順を連続して行い、すべての設定の終了後に[OK]ボタンをクリックするようにします(1回ごとに再起動しても問題はありません)。

- Microsoftネットワーククライアント
- NetBEUIプロトコル
- コンピュータ名

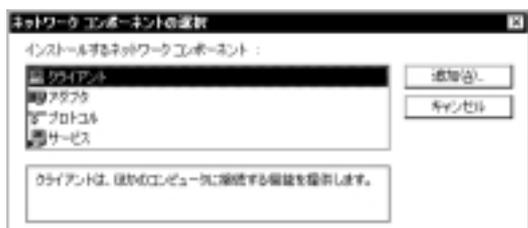
■ Microsoft ネットワーククライアントを組み込む ■

Microsoftネットワーククライアントを組み込みます。

1. Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、[設定]-[コントロールパネル]を選択する
2. [ネットワーク]アイコンをダブルクリックで開き、[ネットワークの設定]タブを表示する
3. [追加]ボタンをクリックする



- 「クライアント」を選択し、[追加] ボタンをクリックする



- [製造元] から「Microsoft」を、[ネットワーク クライアント] から「Microsoft ネットワーククライアント」を選択し、[OK] ボタンをクリックする

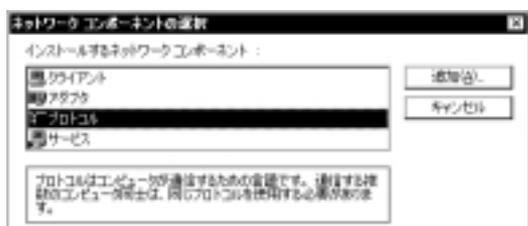


■ NetBEUI を組み込む ■

クライアント側にもNetBEUIを組み込みます。

- ネットワークの設定タブに戻り、[追加] ボタンをクリックする
- 「プロトコル」を選択し、[追加] ボタンをクリックする
- [製造元] から「Microsoft」を、[ネットワークプロトコル] から「NetBEUI」を選択し、[OK] ボタンをクリックする
- [OK] ボタンをクリックする

ファイルをコピーしたあと、Windows を再起動します。



- [製造元] から「Microsoft」を、[ネットワークプロトコル] から「NetBEUI」を選択し、[OK] ボタンをクリックする



■ コンピュータ名を設定する ■

コンピュータ名とワークグループ名を設定します。

1. [識別情報] タブをクリックする
2. コンピュータ名、ワークグループ名を入力する
コンピュータ名には適当な名前を指定します。ほかのパソコンの名前と重ならないようにしてください。ワークグループ名は、サーバー側(ネットワークで共通の名前)と同じ名前にします。
3. [OK] ボタンをクリックする
ファイルのコピーが行われます。途中で、Windowsのセットアップメッセージが表示されたら、WindowsのCD-ROMをドライブにセットアップしてください。
4. 再起動メッセージが表示されたら、[再起動] ボタンをクリックする



◆ ご注意

- コンピュータ名は半角英数字15文字以内で指定します。スペースを入れることはできません。
- ほかのパソコンと同じ名前を付けるとUSBネットワークを利用できなくなります。
- ワークグループ名は、同じく半角英数字15文字以内で指定します。スペースを入れることはできません。同じネットワークのパソコンすべてに同じ名前を設定します。ワークグループ名が違くと、USBネットワークを利用できなくなります。

■ 再起動する ■

ネットワークのすべての設定が終わったら、[OK]ボタンをクリックします。必要なファイルのコピーのあと、パソコンを再起動します。

1. [OK]ボタンをクリックする
ファイルのコピーが行われます。
途中で、Windowsのセットアップメッセージが表示されたら、Windows98 / Windows95のCD-ROMをドライブにセットアップしてください。
2. 再起動メッセージが表示されたら、[再起動]ボタンをクリックする

◆ ご注意

再起動を行わないと、モジュールの組み込みや設定が完了せず、パソコンが不安定な状態になります。この状態で作業を続けると、動作がおかしくなったり、停止してしまうことがあります。必ずここでパソコンを再起動してください。

7.4.2 ダイヤルアップネットワークの接続先の作成

サーバーパソコンに接続するために、ダイヤルアップネットワークの新しい接続先を作成します。電話番号として特殊な番号を使うことで、Atermは外部への接続とUSBネットワーク用の接続を区別します。

1. マイコンピュータ内の[ダイヤルアップネットワーク]アイコンをダブルクリックで開く
2. [新しい接続]アイコンをダブルクリックする



3. 適当な接続名を入力し、[モデムの選択]から「AtermIT SYNC115」を選択し、[次へ]ボタンをクリックする



4. 現在地の市外局番、電話番号「00」、「01」、「02」、国番号を入力し、[次へ]ボタンをクリックする
(次ページのご注意参照)



5. [完了]ボタンをクリックする



6. 作成されたダイヤルアップアイコンを右クリックし、ショートカットメニューの[プロパティ]を選択する



7. [サーバーの種類]タブをクリックし、詳細オプションと使用できるネットワークプロトコルを選択し、[OK]ボタンをクリックする

詳細オプション:以下の3つだけをチェックします。

- [ネットワークへのログオン]
- [ソフトウェア圧縮をする]
- [暗号化パスワードを使う]

ネットワークプロトコル:以下の1つだけをチェックします。

- [NetBEUI]



7

◆ ご注意

- ここで設定する市外局番や国番号は、[コントロールパネル]の[モデム]の[ダイヤルのプロパティ]ボタンをクリックして設定する所在地情報と一致させてください。
- 電話番号欄の「00」は背面USB、「01」は前面USB、「02」はデータポートにそれぞれ接続されているサーバーへの発信になります。

7.5 USB ネットワークの使い方

設定が完了したら、USBネットワークを使ってみましょう。

7.5.1 サーバーへの接続

USBネットワーク機能を使うには、クライアントパソコンからダイヤルアップで、サーバーパソコンに接続します。基本的な接続手順はインターネットプロバイダなどに接続する場合と同じです。

1. USBネットワーク接続用のダイヤルアップアイコンをダブルクリックする
マイコンピュータ内の[ダイヤルアップネットワーク]アイコンを開き、作成したダイヤルアップアイコンをダブルクリックします。



2. ユーザー名と、パスワードを入力し、[接続]ボタンをクリックする
ユーザー名は適当でかまいません。
パスワードは、サーバーパソコンのダイヤルアップネットワークで登録したパスワードを入力します。

電話番号が「00」、「01」、「02」のいずれかになっていることを確認してください。

「00」は背面USB、「01」は前面USB、「02」はデータポートにそれぞれ接続されているサーバーへの発信になります。



接続されると、タスクバーに[ダイヤルアップ]のインジケータが表示されます。



◆ ご注意

- USBネットワークでは、クライアントパソコンからの接続/切断のみが可能です。
- 電話番号に市外局番も含まれているときは、以下のどちらかの対処を行ってください。
電話番号が「00」、「01」、「02」でないと、USBネットワークではなく、ISDN回線へ発信してしまいます。

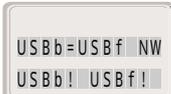
電話番号を修正して「00」、「01」、「02」としてください。ただし、この方法は接続のたびに修正する必要があります。

[コントロールパネル]の[モデム]で、[ダイヤルのプロパティ]ボタンをクリックし、現在地の市外局番を設定してください。

●ご参考・・・・・・・・

USBネットワークが構成されているとき(接続中)は、Atermのディスプレイに次のように表示されます。

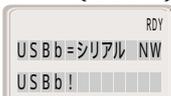
USB(背面)-USB(前面)の場合



USB(前面)-データポートの場合



USB(背面)-データポートの場合



7.5.2 公開されているファイルを使う

ダイヤルアップネットワークでの接続後、デスクトップにあるネットワークパソコンを開くと、サーバーパソコンのアイコンが表示されます。

サーバーパソコンのアイコンを開くと、共有フォルダが表示され、利用できます。

1. デスクトップ上の[ネットワーク]アイコンをダブルクリックする
2. サーバーアイコンをダブルクリックする

接続状態では、サーバーパソコンのアイコンが表示されます。



共有フォルダやファイル、共有プリンタが見え、利用できるようになります。このフォルダを開き、ファイルをクライアント側に取り出したり、クライアント側で作成したファイルをフォルダにコピーすることができます。



?こんなときは・・・・

[ネットワーク]を開いてもサーバーパソコンのアイコンが表示されない場合、しばらく待つか、メニューの[表示]-[最新の情報に更新]を選択してください。それでも表示されない場合、[スタート]ボタンをクリックし、メニューから[検索]-[ほかのコンピュータ]を選択して、[名前]欄に、サーバーパソコンに登録したコンピュータ名を入力してください。

7.5.3 共有プリンタを使えるようにする

サーバーパソコンへ接続したら、サーバー側で共有設定されたプリンタを使用できるようになります。最初に使用するときは、以下の手順でネットワークプリンタを組み込みます。

1. [ネットワークコンピュータ]アイコンをダブルクリックで開く
6. 必要ならプリンタ名を変更し、[次へ]ボタンをクリックする

2. サーバーパソコンのアイコンをダブルクリックで開く

サーバー側で共有設定されたフォルダやプリンタが表示されます。



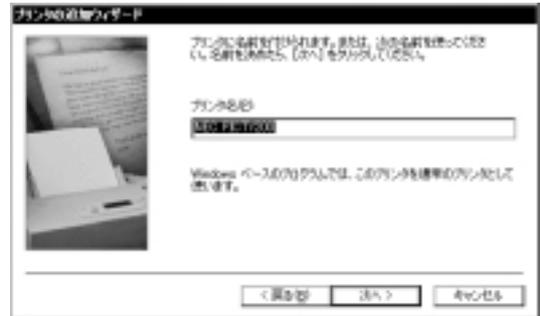
3. プリンタアイコンをダブルクリックする



4. [はい]ボタンをクリックする



5. 通常は[いいえ]を選択し、[次へ]ボタンをクリックする

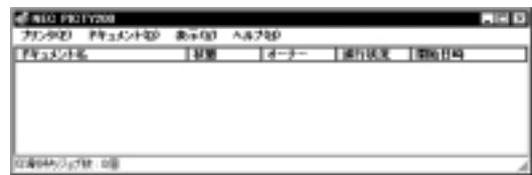


7. [はい]を選択し、[完了]ボタンをクリックする



ファイルがコピーされ、プリンタウィンドウが開きます。

8. [×]ボタンをクリックして閉じる



登録したプリンタは、ローカルプリンタと同様に使うことができます。

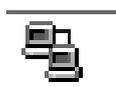
● ご参考

利用するプリンタのプリンタドライバが必要になることがあります。

7.5.4 ネットワークの切断

ダイヤルアップ接続を切断すると、USBネットワークが終了します。

1. タスクバーの[ダイヤルアップ]インジケータをクリックする
2. [切断]ボタンをクリックする



7.6 外部から着信可能なダイヤルアップサーバー

USBネットワーク用に構成したサーバーパソコンは、外部からの接続を受け付けるダイヤルアップサーバーとしても動作します。

ただし、このためには、AtermにINSネット64からの着信ができるように設定されている必要があります。

📌 ご注意

USBネットワーク中でも、空いているデータポートに接続されているパソコンからの発信またはパソコンへの着信は可能となります。